

1 技術を学ぶ意義・目的

自分たちの生活を便利なものにするために技術の果たしている役割は、とても大きいです。生活していくために必要な基礎的な知識と技術を身につける学習をすることにより、進んで自分の生活を工夫していく態度を身につけていきます。

2 学習到達目標

ものづくりの技術が、生活の中でどのような役割を果たしてきたかを知り、木材を使って自分の生活に役立つものを作ります。そのために必要な図のかき方、道具や機械の使い方などについて学び、実際に製作を行い、自分の作品が完成する喜びや楽しさを体験します。

3 使用教材と持ち物

使用教材	教科書 技術・家庭（技術分野）東京書籍 木材（杉材）	持ち物	教科書・ノート
------	-------------------------------	-----	---------

4 学習の取り組み方

学習の進め方	・その時間の学習の課題をしっかりとって授業に臨み、粘り強く学習に取り組む。 ・学習内容に関心をもち進んで発表にも取り組む。 ・製作する作品は、自分の生活の中で役に立つものをつくる。 ・自分の生活や作品について、自分なりに工夫する。 ・実習前の説明はしっかり聞き、わからないことがあれば説明後に必ず質問する。 ・技能面では1つ1つの行程を丁寧に行う。 ・自分の学習状況を把握し、学習の進め方について考え、自らの学習を調整する。 ・提出物は完成させ期限を守って提出する。 ・他の人の作品にも関心をもち、お互いに評価し合う。
学習上の注意等	・教科書、三角定規など授業に必要な物を忘れない。 ・木工室での学習の場合は教室移動を早くすること。 ・木工室の道具はていねいに使用すること。 ・製作においては、自分および他の人がケガをしないよう十分に注意をする。

5 1年間の学習計画

学期	月	単元計画	試験
前期	4	オリエンテーション ・技術分野の学習内容 ・技術とわたしたちの生活 ・社会における技術の役割	期末
	5	ものづくりの視点と進め方 ・製品の工夫と技術の進歩 ・ものづくりの進め方	
	6	材料の特徴 ・材料の特徴 ・材料と環境とのかかわり 設計の進め方 ・機能を考える ・構造を考える ・加工方法を考える	
	7	製図 ・キャビネット図 ・等角図 ・正投影図	
後期	9	木材による製作 ・製作物の決定 ・けがき	学年末
	10	木材による製作 ・切断 ・切削	
	11	・部品の検査と修正 ・仮組み立て ・接合部のけがき ・下穴あけくぎ接合	
	12	・組立て	
	1	・表面と角の仕上げ ・塗装	
	2	・作品の自己評価	
	3	材料と加工に関する技術とわたしたち	

6 評価について

評価の観点		評価の方法
主体的に学習に取り組む態度	・進んで材料と加工の技術に関わり、主体的に理解し、技能を身につけることができる。 ・自分なりの新しい考え方捉え方によって、解決策を構想しようとしている。 ・粘り強く学習に取り組むことができる。 ・自分の学習状況を把握し、学習の進め方について考え、自らの学習を調整することができる。	行動観察 発表 作品 プリント
	・材料と加工の技術に込められた工夫を読み取り、材料と加工の技術の見方、考え方に気づくことができる。 ・自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものになるよう改善、修正することができる。	行動観察 作品 定期テスト プリント
知識・技能	・材料や加工について科学的な工夫点を理解できる。 ・製作に必要な図をかき、安全で適切な製作や検査、点検ができる。	行動観察 作品 定期テスト プリント

1 技術を学ぶ意義・目的

自分たちの生活を便利なものにするために技術の果たしている役割は、とても大きいです。生活していくために必要な基礎的な知識と技術を身につける学習をすることにより、進んで自分の生活を工夫していく態度を身につけていきます。

2 学習到達目標

エネルギー変換の学習においては、家庭で使用する電気の基本的な知識を身につけます。そして電気エネルギーを利用するものづくりとして、家庭で使える災害対策用のラジオをハンダ付けなどの作業を通して完成させます。

コンピュータの学習では、インターネットを利用することから情報機器の正しい使い方や情報セキュリティを身につけます。

3 使用教材と持ち物

使用教材	教科書 技術・家庭（技術分野）東京書籍 副教材ラジオ製作キット	持ち物	教科書・副教材・ノート
------	------------------------------------	-----	-------------

4 学習の取り組み方

学習の進め方	・その時間の学習の課題をしっかりとって授業に臨み、粘り強く学習に取り組む。 ・学習内容に関心をもち進んで発表にも取り組む。 ・学習した内容は、自分の生活に活かすように工夫する ・実習前の説明はしっかり聞き、わからないことがあれば説明後に必ず質問する。 ・技能面では1つ1つの行程を丁寧に行う。 ・自分の学習状況を把握し、学習の進め方について考え、自らの学習を調整する。 ・提出物は完成させ期限を守って提出する。 ・他の人の製作にも関心をもち、お互いに評価し合う。 ・完成した作品は、家庭で有効に活用する。
学習上の注意等	・技術室やパソコン室での学習の場合は、チャイムがなるまでに教室移動をする。 ・技術室の道具はていねいに使用すること。 ・製作においては、自分および他の人のケガに十分に注意をする。 特にはんたごてによるやけどに注意すること。 ・パソコンの機器はていねいに扱うこと。 ・情報のモラルを守ってパソコンを使用すること。 ・情報の安全性の確保に心がけながらパソコンを使用すること。

5 1年間の学習計画 6 評価について

学期	月	単元計画	試験	評価の観点	評価の方法
前期	4	私たちの生活とエネルギー変換 ・エネルギーの利用 ・エネルギー資源 ・二次エネルギーの利用 ・エネルギーの変換と効率	期末	主体的に学習に取り組む態度 ・進んでエネルギー変換の技術と関わり主体的に技術を理解し、技能を身につけることができる。 ・自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想することができる。 ・粘り強く学習に取り組むことができる。 ・自分の学習状況を把握し、学習の進め方について考え、自らの学習を調整することができる。	行動観察 発表 作品 プリント
	5	電気エネルギーの利用 ・直流電源、交流電源 ・光、熱、動力への変換			
	6	電気機器の安全な利用 ・機器の安全な利用 ・機器の保守点検			
	7	電気エネルギー変換を利用したものづくり ・はんだごての使用方法			
後期	9	ラジオの製作	学年末	思考・判断・表現 ・エネルギー変換の技術に込められた工夫を読み取り、エネルギー変換の見方や考え方に気づいている。 ・自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるよう改善、修正しようとしている。	行動観察 作品 プリント 定期テスト
	10	ラジオの製作			
	11				
	12	・作品点検 ・エネルギー変換に関する技術の評価・活用			
	1	情報とわたしたちの生活 ・情報に関する技術と役割			
	2	情報通信ネットワークの利用 ・機器の構成 ・ネットワークの構成 ・インターネットの利用		知識・技能 ・エネルギー変換や伝達に関する基礎的な仕組みを理解し、安全、適切な製作ができる。 ・情報の扱いについて正しく理解できる。	行動観察 作品 プリント 定期テスト
	3	情報セキュリティ ・ネットワークの危険性 ・情報セキュリティ			

1 技術を学ぶ意義・目的

自分たちの生活を便利なものにするために技術の果たしている役割は、とても大きいです。生活していくために必要な基礎的な知識と技術を身につける学習をすることにより、進んで自分の生活を工夫していく態度を身につけていきます。

2 学習到達目標

3年生では「情報分野」の発展的な内容に取り組みます。応用ソフトウェアの操作においてコンピュータの基本的な知識と技術を身につけます。ネットワークを利用した双方向のあるコンテンツのプログラミングの技能を身につけます。また、個人情報や著作権の保護の重要性について理解し実践する態度を身につけます。

3 使用教材と持ち物

使用教材	教科書 技術・家庭（技術分野）開隆堂	持ち物	教科書・ファイル（プリント）
------	--------------------	-----	----------------

4 学習の取り組み方

学習の進め方	・その時間の学習の課題をしっかりとって授業に臨み、粘り強く学習に取り組む。 ・実習前の説明はしっかり聞き、わからないことがあれば説明後に必ず質問する。 ・学習内容に関心をもち進んで発表にも取り組む。 ・自分の生活や作品について、自分なりに工夫する。 ・技能面では1つ1つの行程を丁寧に行う。 ・自分の学習状況を把握し、学習の進め方について考え、自らの学習を調整する。 ・提出物は完成させ期限を守って提出する。 ・他の人の作品にも関心をもち、お互いに評価し合う。
学習上の注意等	・パソコン室での学習の場合は、チャイムがなるまでに教室移動をする。 ・パソコンの機器はていねいに扱う。 ・個人情報の扱いには、十分気をつけること。 ・著作権や肖像権に配慮したデータの扱いをする。 ・情報の安全性の確保に心がけながらパソコンを使用すること。

5 1年間の学習計画

学期	月	単元計画	試験
前期	4	情報モラルと知的財産 ・利用するときのモラル ・人権や個人情報の保護 ・知的財産の保護	期末
	5	コンピュータと情報処理 ・情報を処理するしくみ ・デジタル化の方法と情報量 ・デジタル化した情報の特徴	
	6	応用ソフトウェアの操作 ・表計算ソフトウェアの操作	
	9		
後期	10	プログラムによる計測・制御 ・生活の中にある計測・制御 ・計測・制御のしくみ ・プログラムの基本 ・プログラムの作成	期末
	11		
	12	ネットワークを利用した双方向のあるコンテンツのプログラミング	
	1		
	2		
	3	情報に関する技術とわたしたち	

6 評価について

評価の観点	評価の方法
主体的に学習に取り組む態度 ・進んで情報の技術と関わり主体的に技術を理解し、技能を身につけることができる。 ・自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想することができる。 ・粘り強く学習に取り組むことができる。 ・自分の学習状況を把握し、学習の進め方について考え、自らの学習を調整することができる。	行動観察 ファイル
思考・判断・表現 ・情報の技術に込められた工夫を読み取り、情報の技術の見方や考え方に気づくことができる。 ・自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるよう改善、修正、使用できる。	行動観察 ファイル 定期テスト
知識・技能 ・コンピュータの操作が適切にできる。 ・計測、制御システムを理解し、安全、適切なプログラムの制作、動作の確認ができる。	行動観察 ファイル 定期テスト